

第9学年 学級活動 学習指導案

呉市立広南中学校 指導者 佐伯 育伸
岩城 祥子

1 日 時 令和元年7月10日(水) 5時間目(13:45~14:35)

2 学年・学級 第9学年(男子10名 女子11名)計21名

3 題 材 「七つの資質・能力を振り返り、なりたい自分を発見しよう」

内容(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

4 生徒の実態と題材設定の理由について

(1) 生徒の実態

所属校では、学校の教育目標を達成するため七つの資質・能力を設定し、課題発見・解決学習を行ったり、各教科等を横断的につないだりして単元開発を行ってきた(以下、「プロジェクト学習」とする。)。その結果、平成29年度「基礎・基本」定着状況調査の質問紙調査から、所属校の育成を目指す資質・能力に関する項目で肯定的回答は80%以上であった。また、キャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力について所属校の生徒実態を把握するため、第3学年生徒21名にアンケートを実施した。中学校キャリア教育の手引きの「キャリア教育アンケートの一例」を基に4段階評定尺度法で行った調査では、右表のようになり、人間関係形成・社会形成能力及びキャリアプランニング能力については肯定的評価が見られる。一方で、自己理解・自己管理能力、課題対応能力に課題を抱えていると考えられる。このことから、一学期に取り組んだ行事である「小中合同運動会」や、総合的な学習の時間で取り組んだ「For the Next Step」などの活動から大きな達成感を味わう活動があったものの、これまでの学校生活や今度の活動を自分の生き方とつなげることができていないのではないかと考えられる。

基礎的・汎用的能力	平均
人間関係形成・社会形成	3.19
自己理解・自己管理	2.94
課題対応	2.90
キャリアプランニング	3.05

(2) 題材設定の理由

生徒の実態から、本題材では、中学校指導要領解説(平成29年告示)特別活動編(以下「解説」とする。)に示されている学級活動の内容(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」「ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」を取り扱う。「解説」では、キャリア教育に関わる様々な活動に関して、学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うことが示されている。また、学級活動において、生徒が活動を記録し、蓄積するポートフォリオ的な教材を活用することで、発達の段階に応じた系統的なキャリア教育を充実させることができると示されている。

本題材では、学校教育全体で育成を目指す資質・能力を「キャリアノート」でつなぎ、生徒自身が七つの資質・能力について振り返り、自己の成長や課題、学びの関連付けや自分にとっての大切な学びを考えることで、自己実現を図ろうとする態度を育成する。

指導にあたっては、1学期に取り組んだ各「プロジェクト学習」の単元末において、生徒が七つの資質・能力についてルーブリックを用いて振り返ったものを基礎資料として、事前の活動で「志とカシート」にまとめさせておく。「志とカシート」とは、1学期に取り組んだ「プロジェクト学習」についての振り返りを一元化してまとめたものである。本時では、「志とカシート」を基にして、以下の〔1〕～〔7〕を「キャリアノート」に記述する活動を行う(付した番号は「キャリアノート」の記述番号である。〔1〕～〔4〕自己の成長や課題、

〔5〕昨年度末の「キャリアノート」に記入した「大切にしたいこと」「努力したいこと」の自己評価。友だちと交流したカード，〔6〕他の場面で役立つ学び，そして，〔7〕2学期末における自己の将来の在り方生き方について，である。〕。さらに，事後の活動として，教師や保護者のコメントを記入してもらい，それを受けて自分のコメントを記入し，「キャリアノート」のファイルに綴じさせる。

以上のように「キャリアノート」を活用することを通して，自己実現を図ろうとする態度を育成することをねらいとして，本題材を設定した。

5 指導のねらい

これまでの「プロジェクト学習」で育成した七つの資質・能力を振り返り，「キャリアノート」を活用することで，自己実現を図ろうとする態度を育てる。

6 評価規準

<p>集団活動の意義や活動上の必要事項の理解と行動の仕方（知識及び技能）</p>	<p>生活や人間関係の課題の発見と解決のための話し合い，合意形成，意思決定（思考力・判断力・表現力等）</p>	<p>人間関係等のよりよい形成，生き方の深化と自己実現を図ろうとする態度（学びに向かう力・人間性等）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在及び将来の自己と学ぶこととの関連や意義を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「志とカシート」から，自己の成長や課題に気づき，改善策を考えている。 ・ 現在の学びを振り返り，自己のよさや課題を見だし，自己の生き方について意思決定している。 ・ 友だちの成長したところや友だちへのアドバイスを，書いたり，伝えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習や総合的な学習の時間での「魅力的な生き方」を踏まえた上で，自己の在り方について考え，これからの生活や学習において，自分にふさわしい生き方を選択しようとしている。

7 指導の過程

(1) 事前の生徒の活動：国語，理科，保健体育，総合的な学習の時間，小中合同運動会において行われた「プロジェクト学習」について，身に付いた資質・能力について振り返り，「志とカシート」に記入する。「キャリアノート」の自己の成長や課題，改善点について考えておく。

活動の内容	指導上の留意点	評価規準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各「プロジェクト学習」単元末で，ルーブリックによる資質・能力の振り返りと感想や気づき等を記述する。 ・ 「志とカシート」に，資質・能力を記入し，一番がんばった資質・能力と，もっとがんばればよかった資質・能力を書き，その理由を記入する。 ・ 自己の成長や課題，改善点について記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「志とカシート」には，書き方の例を参考にして，評価の理由を書くように伝える。 ・ 「志とカシート」から自己の成長や課題，改善点を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの「プロジェクト学習」で身に付いた資質・能力の中で，一番がんばった資質・能力と，もっとがんばればよかった資質・能力について，自分の学習態度を振り返り，その理由を記入している。 ・ 「志とカシート」を見て，自己の成長や課題を記入している。

(2) 指導と評価の計画 (全1時間)

活動の内容	評価				
	知技	思判表	態度	評価規準	評価方法
<ul style="list-style-type: none"> 昨年度末に記入した「大切にしたいこと、努力したいこと」に関して自己評価をする。 今後大切にしたいことや努力したいことについて考える。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 昨年度末に記入した「キャリアノート」における「大切にしたいこと、努力したいこと」を振り返り、今学期の自己の成長や努力を自己評価している。 「志とカシート」や「キャリアノート」の記述を読んで、今後大切にしたい学びやがんばりたいという思いをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「志とカシート」「キャリアノート」 「キャリアノート」

(3) 事後の生徒の活動：「キャリアノート」を教師（担任）、保護者に提出し、コメントを書いてもらい、そのコメントを受けて自分の思いを書き、「キャリアノート」のファイルに綴じる。

8 本時の展開

(1) 本時の目標 「キャリアノート」を活用して、自分の成長や課題を見付け、これから大切にしたいこと、努力したいことを発見する。

(2) 本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点 (○) 「配慮を要する」と判断した生徒への手立て (◆) 予想される生徒の反応 (目指す生徒の姿) (□)	評価規準 [観点] (評価方法)
導入 (2分間)	○準備物を確認する。 ○「志とカシート」を活用して、1学期の取組を振り返り、自己の成長や課題についてどんなことを書いているかを確認する。		
展開 (43分間)	○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて 「キャリアノート」を活用して、自分の成長や課題を見付け、これから大切にしたいこと、努力したいことを発見しよう</div>		
	○〔5〕 昨年度に記入した「キャリアノート」の「大切にしたいこと、努力したいこと」について今学期の自己評価を行う。 ○グループで、友だちの「キャリアノート」と「志とカシート」を読んで、がんばったところやよかったところについて、伝えたり、コメントを書いたりする。(グループ)	○具体的な取組での自分の姿を振り返り、努力できていたかを自己評価するように伝える。 ◆「志とカシート」や1学期の「プロジェクト学習」の振り返りの自己評価 (S・A・B・C) や記述と照らし合わせるように声を掛ける。 ○友だちの成長したところを「キャリアノート」や「志とカシート」以外からも、取組の様子を思い出して、よかったところやがんばっていたところをメッセージカードに書くように伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">友だちの評価の例「ソーランの練習の時、後輩たちに、一生懸命教えてくれている姿がかっこよかった」「急に順番が入れ替わったのに、文句も言わず協力してくれてうれしかった。」</div>	[思・判・表] 〔5〕 昨年度末に記入した「大切にしたいこと、努力したいこと」について、今学期の自己評価をしている。(「キャリアノート」)
まとめ (5分間)	○〔6〕 身に付いた資質・能力や学んだことが、他の場面で役立つのは、どんなことか考える。(個人) ○どんなことを書いたか、交流する。(全体)	○過去の学習や生活の場面、また将来必要な場面について考えさせる。 ◆他の教科や学習だけでなく、実生活で活用できると思ったことがないかを問いかける。	
	○〔7〕 これから先、大切にしていきたいことについて記入する。	○これまでの学習や体験したことを踏まえ、これから先、自分にとって大切なことやがんばりたいことは何かを考えさせる。 ◆2学期の「プロジェクト学習」の内容を提示し、がんばりたいことを記述させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1学期は、これまでの中学校生活で、最上級生として自覚を持つ経験ができた。みんなとなんとかやってくれたので、これから2学期の活動についても、みんなと一緒に乗り越えたいと思った。</div>	[態度] 〔7〕 なりたい自分について自分の思いをもっている。(「キャリアノート」)

【事後の活動】

「キャリアノート」に担任と保護者からコメントをもらい、それを受けて自分の思いを記述し、「キャリアノート」のファイルに綴じることを伝える。

9 板書計画

「七つの資質・能力を振り返り，なりたい自分を発見しよう」
めあて：「キャリアノート」を活用して，自分の成長や課題を見付け，
これから大切にしたいことを発見しよう

○確認しよう

- ・できるようになったこと
- ・がんばったところ
- ・自分の課題
- ・改善点

○交流タイム

- ・他の場面で活用できること
- ・大切なこと，努力したいこと

○振り返りシート